

第2次牧之原市立図書館基本計画（案）パブリックコメント 意見一覧

提出者 No.	意見
1	<p>いこっとは牧之原市の宝物、市民のオアシスとなっています。どれほど市民がこうした施設を待ち望んでいたか、来館者が10倍に跳ね上がった事実からもよくわかります。今後、いこっという葉が牧之原市活性化の起爆剤、牧之原市定住人口増加の拠点となるよう以下切なる願いを書かせていただきます。</p> <p>1.15ページに記載の弱み（課題となる点）を克服すること。特に安定した資料費の確保と、将来を見据えた蔵書計画が見えない。専任館長の配置を含む、専門知識のある人員を確保すること。この2点をどんな事情があろうと、途切れることなく徹底的に追及していくと！それにつきます。あとのことは自然についてきます。</p>
2	<p>毎日の生活に`読書ぬき、は考えられない私ですので、今回のいろはの開館を待ち望んでいました。84才になる私の友人も同じです。</p> <p>そこで提案</p> <p>①新しい本は必要です。たくさん買ってください。半面、古い本は捨てられがちですが、私達高齢者の読みたい本は今の人たちが手にすることは少ないようです。明治、昭和の作者（主に文学）のものは残して欲しい。</p> <p>②延床面積も `いこっ、より少ない状況で、両者の本の行き来は可能なものの、やはり保存という面を考え、今の駐車場とつないだトランクルーム(?)みたいなものを作り書庫として運用して欲しい。</p> <p>③館員の中で、ボランティアの人がいるなら何がしかのお金を出してやって欲しい。今や無償のボランティアという考えは古い。</p> <p>④他県の図書館へ行った時、週1～2回、夜8時、9時までという制度がありました。働いている人にも利用できることはとても大切だと思います。何とか工面して回して欲しい。（逆に夜なら働けるという人もいるかもしれません）</p>
3	<p>今回、牧之原市立図書館が近隣に開館することはとても嬉しいことです。</p> <p>ひとり暮らしになり、新聞等の購読を中止した方は、散歩がてら図書館に行きゆっくり新聞を読み読書できる時間を楽しみにしているという事でした。</p> <p>以前そこに無い本を他所の図書館から取り寄せていただいたことがあります。ありがたかったです。開館を楽しみにしています。</p>
4 次へ	<p>図書館の今までの歴史と課題と今後への展望がわかりやすい言葉で具体的に書かれた図書館基本計画案に、まずは感銘を受けました。職員・図書館協議会・市民の頑張りの結果だと思います。故郷を愛する牧之原市出身者として関係の皆様から感謝申し上げます。</p> <p>この基本計画案を広く市民や関係の皆さんにみていただければ、図書館への理解者と支援者が増えるだろうと思いました。</p> <p>アンケート結果や評価に表われた課題についても興味深く見せて頂きますか。中でも、第2章の1図書館を取り巻く状況(1)社会環境の変化と図書館であげられた「ダイバーシティとインクルージョン」と「格差と貧困」は現代社会の大きな課題かと思いますが、その解決のために今後図書館の存在意義が大いに問われると思います。</p> <p>アンケートでも割合が多い「図書館に来たことがない」方は情報弱者でもあり学習する機会に遠い方かと想像しています。図書館は「誰も取りこぼさない社会」へのセイフティネットと言われています。</p> <p>「いこっ」も居心地のいい親しみやすい図書館として県内外で評価されています。「文化の森」図書館のリニューアルもあり、財政難の中、とても頑張ってください。</p>

<p>4 続き</p>	<p>牧之原の文化・教育のさらなる発展のために、計画案の中から特に下記のことを重点課題にして頂けたらと思いました。</p> <p>第4章 具体的な取り組みから</p> <p>(1)専門的サービスを保障する人員体制の確保 (2)図書館サービスを向上させるための職員研修を実施 (3)市民の「知りたい」に応える資料の収集・提供</p> <p>そのためには、外部評価で言及されていますが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ規模の他館に比べて職員数が少ないので職員増と、サービスを統括する「図書館長」と事務をまとめる「係長」に専任職員を配置することを実現して欲しいです。 ・アンケートによると、新鮮で幅広い資料があることが来館の大きな要望事項となっています。資料費の増額が利用しやすい図書館への近道かと思えます。 <p>図書館や市民の努力だけでは出来ないことなので、杉本市長様をはじめとする幹部の皆さん、議員さんなど関係者のご英断と、さらなるご理解の「ひと声」があると心強いと個人的には思っています。</p> <p>牧之原の図書館には、市民の絶大な協力があります。行政と市民の自立した上での信頼関係の中での共働は素晴らしいです。</p> <p>又、牧之原では鈴木善彦氏をリーダーとする図書館協議会のレベルが高く、幅広い視野で責任を持って愛情深く方向を間違えずに図書館の有り様を導いて下さっていることに心から感謝しています。</p> <p>この機会に市長様・行政関係者・図書館職員・サポーターの皆様の日頃の頑張りに感謝を込めて、いつも思っていることを述べさせて頂きました。</p> <p>追伸</p> <p>友人の何人かに図書館に望むことをお聞きしてみました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今は利用していないが、榛原図書館が出来たら行きたいと思っている。 ・図書館から遠いし、農業をして忙しいので、貸し出し冊数をもっと多くしてもらえたら、文学書だけでなく、料理の本や孫の絵本も借りられるし助かる。 <p>と言うご意見でした。</p>
<p>5</p>	<p>読み聞かせボランティア支援の件です。私は読み聞かせボランティアを始めたばかりです。打ち合わせする日に「本」決め読み聞かせする日が1か月位あった事がありました。読み聞かせ「本」確保するのに期間延長手続きだけで「本」持参し図書館行く事がありました。また1か月借り続ける必要はないけれど読み聞かせ日に「本」確保が必要です。読み聞かせする為の「本」手続きボランティア負担少ない方法考えて頂けたらと思えます。</p> <p>それと共に、打ち合わせする場所を決めるのに担当者が苦慮する事もあります。フリーミーティングする場所もあると活動しやすいと思えます。</p>
<p>6</p>	<p>子供を連れて楽しめる図書館にして欲しいです。絵本や児童書を充実してくれると嬉しいです。</p>
<p>7 次へ</p>	<p>第2次牧之原市立図書館基本計画について</p> <p>「はじめに」で榛原・相良図書館の設立から市町村合併に伴う牧之原市立図書館の誕生、いこつとや開館予定のいる葉について分かりやすく、牧之原市立図書館の歩みを紹介していただき嬉しいです。またあり方検討会や7つの提言そして図書館協議会まで長い道でございました。30代のお母さんも60代の祖母になりました。本当に欲しくて欲しくて願った我が市の図書館です。その念願かなった図書館がこれからも長く持続・充実していくために以下のことを提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牧之原市立図書館は有資格者の専任館長、牧之原市の直営で、十分な人数の司書資格保持者の正規職員が必要です。 ・図書資料費の増額と長年にわたる継続が必要です。 ・蔵書数は12万冊以上を目標にしてほしいと思えます。 ・中間見直し時の外部評価の方々はどうのような方か(一般市民とか図書館学の専門家とか)市民に分かりやすくしたほうが良いのではないかと、思えます。 <p>また評価の結果も広報や図書館閲覧で市民も知ることができると良いと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の現状の表に職員数も記入したほうが良いと思えます。

7 続き	<p>・ひまわり号は要望によりステーションの変更の可能性を明記していることは、福祉や高齢化社会の中で図書館を利用するためにとっても良いと思います。 「要望によりステーション増設」の可能性も明記しているともっと良いと思います。 ひまわり号の巡回で学校を回る時、前日の校内放送で貸出カードの持参を呼び掛ける等学校と協力してほしいと思います。</p> <p>・施設の長寿化や移設の可能性が検討事項に入っているが、視聴覚資料や電子図書についても視野の片隅に入っていると良いと思います。</p> <p>・お茶コーナーを充実させるのはすごく良いと思います。地域の特性を考えてビジネスコーナーの中に農業関係の図書(特に経営)が必要と思います。</p> <p>・市民協働の図書館は近隣には少ないので、牧之原市立図書館の特色にしたらいいと思います。</p> <p>・行政資料については「広報まきのはら」と「議会だより」は過去10年分くらいは図書館で閲覧可能にしたほうが良いと思います。</p> <p>・上記の移動図書館にもかかわるが、学校図書館との連携強化も進めてください。 またダイバーシティやインクルージョンや貧困と格差等現代社会の課題を見つめ、牧之原市立図書館から未来をひらいて行こう理想が素晴らしいと思います。</p>
8	<p>榛原図書館と「いこっと」の閲覧できる新聞数が違い過ぎる為、榛原図書館の新聞を充実させて欲しい。出来れば一般家庭での購読が少ない日経新聞を導入して頂きたい。 希望：静岡と日経という組み合わせでは如何でしょうか。御検討お願い致します。宜しくお願い致します。</p>
9	<p>・本を読む習慣がなく、読む時間を取らないので、本を読もうと思いません。しかし、ただ本を読むためだけのイベント、空間づくりが出来たら読む気になるのかもしれない。</p> <p>・調べる=図書館ということはないので、図書館を知るといふ図書館工場(向上)見学を通していろいろなジャンルの本をおいてあるんだぞと図書館の利用の仕方を知りたい。</p>
10	<p>いろ葉の開館楽しみにしています。 出来れば、ブックポストが移動図書館が回る場所にもあるといいなと思います！</p>
11	<p>関係者の誰もが目を見張るあの図書館。豊富な予算を存分に使い、斬新なデザインと圧倒的な蔵書数。上質な家具。関係者ではない私もわざわざ行ってみたくなるような図書館という名の美術館。知恵を絞り、工夫を凝らした上に、金銭上の後押しによって、この上もない魅力的な施設が金沢に誕生したと考えられます。</p> <p>我が牧之原市は予算の面では太刀打ちできませんが、彼らと同等の知恵と工夫を発揮することは可能だと思います。普段書籍に接することのない人達を呼び込むことが眼目かと思います。</p> <p>例えば他の目的(喫茶、幼児の遊び場、社交クラブ)で訪れた場所が際立って個性的な内装であったり、知的好奇心を刺激する展示があったり、その先に本来の図書館としての設備が来客を迎える。</p> <p>例えば毎週のテーマを決めて映写会を開き、より深く知る為の参考資料を紹介する。それに関しての意見交換会を催すなど、突飛もない意見でも出来るだけ多く出し、その中から実現可能な案は集約していく、などいかがでしょうか。</p>
12	<p>いつも「いこっと」を利用させていただいています。館内の季節感あふれる飾りつけや本の展示、イベント、講習会など、様々な取り組みがされていてワクワクします。</p> <p>開館年より利用者が減少しているのが気になります。図書館は本を借りるためだけの場所ではない。利用する人と全く利用しない人に分かれてしまっているのでしょうか？</p> <p>①ボランティアの連携、学習の機会など充実、団体の紹介や横のつながり ②まきのはら塾などの展示や紹介 ③学校図書、読書活動の推進</p> <p>特に上記の点について、工夫や強化をお願いしたいです。 多くの市民が図書館の良さを知り、関心を持ってもらえるように期待します。</p>

「図書館のあゆみ」L7「地域の読書好きな住民に」「サービス指標でも最低クラス」

→「多くの市民に」でもいいのでは。

→第1次以降、最低クラスを脱出したのでしょうか

p 7「読書バリアフリー法」「拡充を進めます」

→進捗状況は？

次期「牧之原市こども読書活動推進計画」

→ないのであれば、ぜひ、策定を進めて欲しい。

13

P27 図書館アンケート結果設問7「望むこと」

→新しい本があることが、1番の魅力です。利用してみて、新しい本が増えていると、思いますが、まだまだ、少ないので、蔵書数を増やして欲しい。

その他

文化の森図書館「いろ葉」の充実に期待しています。